

会議録

会議の名称	令和2年度 第7回加西市総合政策審議会
開催日時	令和2年12月10日(木) 午後2時00分～3時30分
開催場所	加西市役所5階大会議室
<p>議長の氏名 (会長 杉山 武志)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p><出席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田尾 真 ・大野 聖佳 ・岡 和司 ・木下 勇 ・久米澤 稔 ・後藤 直樹 ・杉山 武志 ・高見 千里 ・谷勝 公代 ・辻田 聡信 ・中野 重美 ・仁科 崇良 ・濱本 泰秀 ・松岡 勝己 <p><欠席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸本 達希 	
<p>傍聴者の人数</p> <p>一般：1名 報道機関：なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと創造部長 千石 剛 ・ふるさと創造部人口増政策課長 藤後 靖 ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 後藤 伸嘉 ・ふるさと創造部人口増政策課係長 森山 俊幸 ・ふるさと創造部人口増政策課係長 岩野 裕之 ・ふるさと創造部人口増政策課主事 大西 弘晃 ・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり推進員 小山 映 	
<p>1 議事</p> <p>(1) 第6次加西市総合計画(案)の意見・提案等に対する対応</p> <p>(2) 答申(案)の意見・提案等に対する対応</p> <p>2 会議資料</p> <p>会議次第、配席図</p> <p>資料1 加西市総合政策審議会の意見・提案等への対応</p> <p>資料2 第6次加西市総合計画(案)</p> <p>資料3 第6次加西市総合計画の策定について(答申)</p> <p>参考1 新行財政改革プランの概要(骨子案)</p> <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第7回加西市総合政策審議会の経過」のとおり</p>	

(別紙) 第7回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
<p>会長</p>	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p>1 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが猛威をふるい出して大変な時期に、ほとんどの委員にご出席いただき、お礼申し上げる。 ・今年度最後の審議会となるが、前回、皆様からいろいろご意見をいただいたことへの事務局の説明に対して、最終チェックの意味も込めてご意見をお願いします。 <p>2 委員等出席者の紹介</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 第6次加西市総合計画(案)の意見・提案等に対する対応 (事務局から説明) 特に意見なし</p> <p>(2) 答申(案)の意見・提案等に対する対応 (事務局から説明) 特に意見なし</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>4 その他 (事務局から「新行財政改革プランの概要(骨子案)」説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行革改善額のところに民営化とあるが、何をするのか。 ・こども園の民営化を進めていくこととしている。まず、北条東こども園の民営化が公募で既に決まっており、令和3年度は共同運営とし令和4年から本格民間移行となる。人件費等でこれだけの効果額がある。 ・全部で3園予定しており、令和4年から北条東、令和5年からもう1園、最後に令和7年からという予定である。
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に企業では、10年後の目標を定めて、現在との乖離を埋める形で計画を立てるが、今の状況を見ると積み上げていくイメージを持つ。 ・委員がおっしゃるように、10年、5年の目標年次を見通してギャップを埋めるバックキャストイングと、現状から考えていくフォーキャストイングの2つの計画手法がある。 ・地域創生戦略はバックキャストイングでまとめているが、総合計画の方は、現状の課題を解決・改善していくフォーキャストイングである。財政収支も、現状からどういう動いていくかを積み上げていく流れになる。
<p>副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画があって、その下支えとして行革プランがある。その中にある実施計画を今から決めていき、その評価がまた出てくるということだと思う。 ・プランの評価のところで、基本的な考えとして、近隣の団体の指標と比較すると書いてある。評価検証の時に、実際の進行度と周りとの違いが分かりやすいように、できるだけ近隣のものと比較できるKPIにさせていただくと評価しやすい。難しいと思うが、できる限りそのような指標の設定をお願いします。 ・財源は限られているので、積み上げてオーバーしてしまうのであれば、計画の中で濃淡を付けながら、お金を使っていかなければいけないという話ではないか。
<p>委員 副会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・積み上げ方式でいくと、行け行けのプランになってしまうことが懸念される。何のための計画なのか。 ・歯止めをどう考えているかという質問だと思う。 ・参考資料の2ページ、4の(6)の表に、財政指標の一番下に「経常収支比率」とあるが、これは社会福祉費などで恒常的に出ていくお金の割合である。基本的には税収と交付税を含めた分の残りの数パーセントのみに自由度がある。90数パーセントは必要経費に取られてしまうというのが我々の財政状況である。 ・次ページの財政収支見通しの表で、太枠の2つ目の上から5つ目に「投資的経費」とあるが、自由度のある使途の枠はこれを上限にとどめることにより、財政収支を10年間見通したというふうにご覧いただきたい。積み上げる部分と、一定の自由度はあるけれども際限なく使っていくわけにはいかないという規律を示すために、こう示している。
<p>会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よく分かった。この表の中で収支が上下していると、いろいろ考えている収支見通しと分かるが、投資のところは90で止まっている。 ・実績で見ると変動があるが、上限枠なので、これを超えることは基本ないということ

会長	<p>ある。実績を見ていただくと分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K P I については近隣との比較等に配慮しながら定め、評価にあたっては収集できる指標の数字は近隣のものもお見せする形に持っていきたい。 ・ 財政収支見通しの、支出枠の「病院事業操出金」について、現在、病院の建て替えやドクターの確保など、いろいろな問題を抱えている。令和3年度から10年間の予算で、この数字を出された根拠や見直しはあるのか。 ・ 現時点では「案」であるのご理解いただきたい。病院についても、基本計画委員会の答申を受け、建設事業費自体は算出されている。市民ワークショップということで、1月にかけて5回、市民の皆様と将来の病院についての議論を並行してやっている。それらを受けて、答申を受けた基本計画に若干の見直しが入った後、詳細が詰まってくる。病院の建設費に対して、病院自体は自主採算が合うような運営を目指しているが、公的病院なので、市からは一定の繰出金をもって安定的な運営をしてもらうようにする。今年度までは基本9億円ということでやってきたが、病床数も減らし、病院規模は基本的にはスリム化させる方向性で進んでいる。この枠内で自主採算での運営をお願いしたいという意味合いで、この数字を見ていただきたい。
委員	
事務局	
会長	<p>5 答申 (答申文読み上げ、市長に総合計画(案)提出)</p>
事務局	<p>6 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最後に各委員から、審議会に参加しての感想や今後のまちづくりに対する期待、要望についてご発言をお願いする。 ・ 全ての会議に参加できたわけではなく、申し訳ない。これだけのメンバーが知恵を出し合って答申したので、これを基により良いまちづくりを目指し、進んでいただきたい。 ・ 初めてこのような経験をさせていただいた。総合計画などをいろいろ読ませていただいて、とても勉強になった。日々の生活の中で、知り得た取組などを意識しながら行動するようになった。総合計画の内容について、市民の皆さんにたくさん広まればいいと思う。これだけたくさんの方が関わってできた総合計画なので、家族や知人など一人でも多くの人に伝えていきたい。 ・ 今年から参加し、委員になるまでは市行政についてあまり関心がなかったが、市職員が多岐にわたる施策に基づき、尽力されていることがよく分かった。会議には聞き慣れない単語があふれ、戸惑いもあり、あまり発言できなかったが、良い経験となった。これから人口減少や少子高齢化が進み、新型コロナの問題もあり困難が多いが、総合計画の達成に一市民として協力する。加西の伝統を継承しつつ新しい技術を採り入れて、変化に対応した魅力ある加西市になっていくことを期待する。 ・ 初めて参画させていただいた。これからの10年、審議した内容が1つでも2つでも良い方向にいけば、参加したかいがある。 ・ 労働者の立場で発言してきた。市民ができることがしっかり書かれていることが非常に大事である。労働者福祉協議会としても、計画を通じて、団体・事業者ができる活動をしていき、労働者の意識を変えていきたい。 ・ 総合計画については、自分の仕事に関することは関わったことがあるが、このような議論を経て策定されていることは知らなかった。たくさんの方が思いを寄せて計画していることがよく分かった。実際にやってみて、検証して次につなげるというPDCAがすごく大事だと思う。 ・ 農業をやっているものとして、普段は接している人がすごく限られており、いろいろな人と意見を言い合う機会があまりないので、良い機会を与えられた。職員の頑張りだけでなく、市民の協力もすごく大事になってくる施策がたくさんある。私自身、今まであまり意識していなかったが、協力できるところは、できる限り協力していきたいという気持ちが芽生えた。 ・ 市民の多様なニーズに応えるとともに、複合的な地域課題により効果的に対応するため、市長部局と教育委員会との連携、企業、NPO、学校等の多様な主体との連携を強化し、ますますネットワーク型行政として、積極的に効果的な連携を仕掛けていっていただきたい。協働施策を推進することが重要だとよく分かった。 ・ 市民の会議は3年目に当たるが、毎回自分の専門外のことを学ぶ機会がある。願わくば、市民にもこういうことをしっかり知っていただきたい。 ・ 加西市でも、スポーツに関しては基本計画などもつくったことがありよく分かっていたが、それ以外のことは初めての経験であり、良いステップアップになった。市がどんなことに取り組んでどんな運営をしているのか。子どもたちが幸せに暮らしていける加西市をつくっていただきたい。子どもたちや高齢者について、ここで発言することで生涯
委員	

委員	<p>学習課から早速依頼があり、11月12日にかしの木公民館でスポーツをやらせていただいた。これからもスポーツ推進員として、市民に協力できることがあれば気軽に声を掛けていただきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 金融界を代表して参加した。コロナ禍で苦勞している事業者が大変多い。加西市は先進的な取組をしているが、引き続き金融に目詰まりを起こすことなく、余剰のある方から不足している方へ、サポートしていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> キャッシュレスについて、金融とデジタルは非常に親和性が高い。加西市では比較的年配の方でもPayPayなどが普及しており、何とか自分で使いこなしていかなければという方が多い。キャッシュレス時代にうまく対応しながら、加西市と発展していければと思っている。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> 企業と行政は大分違うと勉強させてもらった。計画はできたが、家の周辺を見ると空き家が増えて、結婚しない若い人も増え、人口が減っている。昔に比べて、最近は市民の意識が変わってきており、計画を実践するのは非常に難しいと思う。市長の手腕に期待している。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> この審議会ではいろいろ言わせていただいたが、対応していただいた事務局の皆様にご意を表したい。コメントを聞いていると皆さんは終わった感が満載だが、承認されるには議会手続きがいるが、我々は生みの親として結果責任も伴ってくることを分かっていた。皆さんが言われたように、これを知ること加西市が好きの人第1号に我々がなった。コロナはうつしてはいけないが、加西市が好きの人、まちづくりに参加する人にはどんどん感染させていきたいので、濃厚接触して伝道師となっていただきたい。また、生まれた子どもがきちんと成長するか、教育し見張る役目も担ってほしい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 拙い進行でご迷惑をおかけした。特に前回の第6回は、うまくまとまるのか心配したが、第7回で答申させていただけたことを喜んでいる。答申の文書の上では私の名前を書かせていただいているが、本審議会、そしてこれまで2年間いろいろな方々の想いがこもった中で、全員で出したものと認識している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 今回の計画がいろいろなところに波及して、10年、20年後に何らかの形で出てくると考えている。10年、20年後に、将来都市像のように「大空に 夢がふくらむ 「未来の田舎」 かさい」になっているよう期待している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 市長からお礼を申し上げる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 2年間にわたって何度も集まっていた。感想を聞いて、めいめいの中で良い経験になったということで、十分満足している。インフルエンサー、伝道師という言葉が社会において重要な言葉になっているが、自分の影響力の及ぶ範囲でインフルエンサー、伝道師になってほしい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 近代的機器に基づいた情報の発信・受信も大きな要素だが、心や足、体を動かして何かを実現するには、尊敬する人から受ける影響が大変大きいと思う。今回の経験を経て、いろいろな方に影響を与えていただきたい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 行政としては計画ができれば満足という意識が長年続いており、じくじたる思いが常にあった。前回の計画を全て担ってきた感想として、自分の想像力、目指してないことまで、場合によっては動いてしまうことがある。基本的な想像力の及ぶ範囲で一番良い加西市にしようということが分かっていたら、全て実現できる。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 飛行場も加西市のものにしておく方がいいということで、飛行場を買う計画を出した。372号線の改良をめざして最初に出した計画は漫画のようなものだったが、今度、令和4年4月には地域活性化拠点施設として一定程度のものができる。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 最初は公共で利用するので売ってほしいという程度の計画だったが、国でまち・ひと・しごと創生法ができ、地域創生戦略に応じて地域創生交付金制度も生まれて、施設がつくれるような補助に乗ればということで、今の状態になっている。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 10年前は予想もしなかったが、修学旅行生が来るようになった。物事が動き出すと、意図しない動きも出てくる。目の前にチャンスがあれば実現していくことが、市を活性化させることになる。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 就任して直ぐに産業団地が完販となり、5つくらいの箇所を想定して経費計算し、企業庁にも相談して、いろいろな過程を経たが、企業庁の規定や採算が合わないということだった。それならインター周辺にできないかというのが発端となり、当初考えた時は、農工法という法律だったが、運良くそのタイミングで、農村地域の農業を守っていくために産業も同時に必要であるという農産法が成立した。インター周辺は、ここでつければ買ってもらえるだろう、買ってもらわないと意味がないということでやったが、農地でも優良農地で150ヘクタールあり、圃場整備をしていたら絶対にできていない。奇跡的な状況で前に進んでいる。
市長	<ul style="list-style-type: none"> これから施策を展開していかないといけないが、行革プランについても少し見ていただいた。前回の行革プランと全然違うのは、ふるさと納税についてである。地方交付税の減額にも影響しないもので、令和2年度は40億円としているが、平成20年度に580万円

事務局	<p>から出発して、40億円という数字は驚くほど大きい。どんな大きい理想を持って、財源の裏付けが非常に重要であり、最大限の努力をしている。</p> <ul style="list-style-type: none">• 皆様にご議論いただき、まちづくりをやっていく根拠が随分高まってきたらとご報告したい。我々も努力するが、大いに市民に広めていただきたい。計画の冊子があれば読む人が多くいると思うので、ホームページも含め、発信していく。これを市民の計画にしていきたいと考えている。• 最後に、まだ委員任期は残っており基本的に常設の審議会なので、引き続きよろしくお願ひしたい。長期間にわたり、ご議論に参加していただき、仕上げていただいたことに感謝する。• 来年度は、この審議会にて評価検証をお願いすることになる。現在、作成中の実施計画についても見ていただくとともに、令和2年度の評価をしていただくことになる。新年度の6月くらいに第1回を予定している。
-----	---